

## 令和4年度指定管理者評価シート

### 1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市営武蔵浦和駅東駐車場
(2)施設概要	<p>①所在地 埼玉県さいたま市南区别所7丁目2番1号</p> <p>②施設の設置目的 自動車を利用する市民の利便性に資するため</p> <p>③施設の概要 自動車駐車場</p>
(3)指定管理者	タイムズ24株式会社連合体
(4)指定期間、管理経費	<p>①指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>②管理経費（直近3か年） 令和2年度18,798千円、令和3年度18,875千円、令和4年度18,903千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用台数 49,503台／年(前年度50,161台／年) ◇業務実施状況 自動車駐車場の利用許可や利用料金の収入及び還付に関する業務を行いました。</p> <p>②維持管理業務の状況 有人管理 6時30分 - 17時 (6時30分-11時30分 2名配置、11時30分 - 17時 1名配置) シャッター開場、場内清掃、巡回などを実施しました。</p> <p>③その他の業務 ・近隣事業者との駐車場提携 ・駐車場利用者アンケートの実施</p>
(6)収支状況	<p>①収入 ・利用料金収入14,496千円（前年度14,931千円）</p> <p>②支出(実績額) ・人件費7,985千円（前年度7,985千円） ・事業費5,218千円（前年度4,776千円） ・事務費5,218千円（前年度5,119千円）</p> <p>③納付金 ・収入-管理経費 0千円(前年度 0千円) ※収入が管理経費以下の場合0千円</p>
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>実施期間: 令和5年1月30日～2月12日 利用者の年代としては、60代以上が35%と一番多く、駐車場利用目的の大多数が当駐車場施設上層階の医療関連のテナント利用との結果でした。 日中最大料金や全日定期券の導入について「あったほうが便利」という利用者からの回答は、全日定期券が42%、最大料金が64%となっております。定期的に利用されている方は定期券がある方が便利と感じられるかもしれませんが、日中最大料金については、6割の利用者が最大料金がある方が便利と感じており、長期利用しやすい料金設定にすることで利用者が増えると想定します。 2022年10月度、利用者より精算機から領収書が発行されないとの問い合わせが同日に2件発生いたしました。利用者へは後日担当部署より領収書を送付対応し、機器不良については、領収書払い出し口の滑りが不良とわかり、至急詰まり防止の措置を行いました。対応後、同様の問い合わせは発生しておりません。</p>
(8)その他	上記のアンケートでも大きな苦情はありませんでした。

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
電子マネー決済	クレジットカードは対応済みだが、電子マネーは機器(市の資産)の入れ替えが必要なため未実施。
駐車場情報の配信	実施済。パソコンやスマートフォンから満空情報を含めた駐車場情報が閲覧可能。
精算機の機械警備導入	人件費を削減して機械警備を導入。
駐車場内の電波状況改善	地下は電波が悪いことから、電波改善を実施。
カーシェアリング車両の配備	市と協議をしたものの市有地における制約等があり、現在未実施。
最大料金設定、定期券販売	ニーズ等を精査した上で条例改正が必要なため、現在未実施。市との協議は継続する。

## 3. 評価

### (1) 指定管理者による評価

#### 【市民の平等利用・市民サービスの向上、利用促進】

令和4年度の利用者アンケート結果を受け、定期券販売の導入や引き続き広い世代の需要を取り込める施策を検討して参りたいと考えております。

#### 【経費削減】

実績上の令和4年度支出については18,903千円となり令和3年度比103%という結果でした。

昨今の燃料費高騰により、令和4年度の光熱水費については昨年度141.1%(コロナ前比153.1%)となりました。

光熱費削減策として地下2階の利用状況が非常に低いため、地下2階閉鎖・場内照明を消灯することを検討いたしましたが、駐車場利用者の実際の利便性や防犯面を考慮した結果実施はいたしませんでした。令和5年度の経費削減策については、令和4年度の運営状況を鑑みて、無人対応が可能な範囲は機械警備やコールセンターで対応し、現地係員の配置数の削減をおこないます。

#### 【適正な運営管理の確保】

令和4年度は、大きな事故やトラブルの発生がなく運営を行うことができました。今後とも安全面に最大限の配慮を行いながら運営に努めてまいります。

### (2) さいたま市の評価(評価担当課:都市局都市計画部自転車まちづくり推進課)

#### 総合評価 (B) ※A~D

- ・利用者への公平公正な対応、利用者サービスの向上、利用促進に努められていた。
- ・収入面については、コロナ禍による利用料金収入の低下といった点で大きな打撃を受けたが、現場周辺を熟知する指定管理者がノウハウを活用した傾向分析を行うことで利用促進案の提言に努めた。
- ・人員配置を精査し、翌年度からの更なる経費削減案を提言する等、自社のノウハウを活用して管理経費の削減に努めている。

### (3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、安心安全な施設の管理・運営に努められたい。